

本校 後藤君 最優秀賞を獲得 2014

千葉大学主催 第8回 高校生理科発表会

優秀賞も3グループ獲得

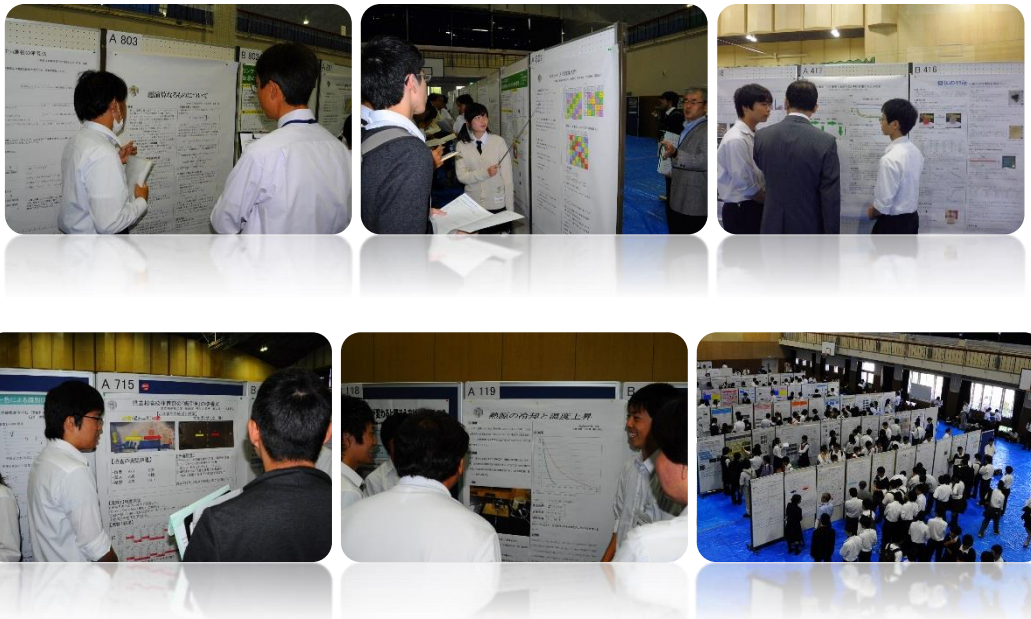
9月27日（土）千葉大学西千葉キャンパスにて第8回高校生理科発表会が開催されました。主に関東地区の高校生が研究した内容の発表です。発表件数が309件という多数の発表がありましたが、その中でも本校生徒たちは活躍には目を引くものがありました。

この発表会の千葉大学からの報告はこちらです。

<http://www.cfs.chiba-u.jp/koudai/happyoukai%20houkoku/houkoku26.htm>

<http://www.cfs.chiba-u.jp/koudai/happyoukai%20jusyuu/8jusyuu.pdf>

当日、本校の発表者たちは朝7:00に柏駅に集合し、全員で千葉大学まで移動しました。そこでポスターを貼り、そのポスターの前で発表を行いました。そのときの様子です。



本校の発表は9:00から11:00の2時間です。その間多くの先生や高校生が次から次へとさまざまな質問をしてくれます。それに対応するのはとても大変なことです。その2時間が終わると昼食、また昼から2時間後半組の発表となり今度は他校の発表を見に行く番です。すべての発表が終わると、講演会があり、その後にはいよいよ受賞者発表となりました。

全ての発表の中での最優秀賞が数学の「超演算なるものについて」本校の後藤倫君でした。優秀賞には化学の「ヘドロセラミックによる有機物の吸着」板谷 亮太 竹上 怜 彦坂 佳尚、生物の「身近なコケの原糸体を用いたファイトレメディエーション」井戸 方子 越川 愛雪 和田 秋花、「ミドリムシの遊泳とユーグレナ運動の関係」成田 みのり 野中 強也 山崎 晴菜でした。すべて3年生の研究発表です。2年生は4月から始めていますので、この時期までの完成度はやはり低くなかなか受賞は難しいものがあります。

発表会の様子はこちらです。

